

令和8年度 63回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅰ (分娩期)	分野/教育 内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年前期	単位数/時間	1単位/30時間 <u>分娩(15時間)</u> と妊娠(15時間)を合わせて1単位
担当講師名	伊藤利佐	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師・助産師
	千葉 勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院
		資格・免許	助産師・看護師
授業の概要	分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化を理解し、援助の実践を学ぶ。 また、分娩の進行と産婦・胎児の健康状態、産婦・家族の心理・社会的な問題に 焦点を合わせたアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 正常な分娩の流れとメカニズムを理解し、産婦が満足した分娩となるように基本的な看護を学ぶ 2. 分娩期を妊娠期から連続的に捉え、分娩期必要な情報を理解する 3. 分娩が産婦やその家族に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響を知りアセスメントできる		
事前学習 内容	妊娠期における母子の生理について復習する		
成績評価の 方法	試験による評価 伊藤先生：80点、保健指導：千葉20点 合計100点		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 2026年1月20日発行第3版第3刷 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 2026年1月20日発行第6版第3刷		
授業回数	授業形態	授業形態	講師
第1回	1. 分娩期における看護師の役割 2. 分娩の生理 (1) 分娩に関する定義 (2) 分娩の三要素 (3) 分娩の経過	講義	宮古病院助産師
第2回	3. 産婦と胎児のアセスメント	講義	宮古病院助産師
第3回	4. 産婦のニーズと看護 ・産婦の基本的ニーズへの看護 ・産痛の緩和と分娩進行に対応した看護	講義	宮古病院助産師
第4回	・安全を保障する管理		
第5回	5. 産婦と家族の心理	講義	宮古病院助産師
第6回	6. 分娩期の保健指導の実践	個人ワーク	教員：千葉
第7回	7. 分娩期の保健指導の実践	個人ワーク	教員：千葉
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の役割についての学びを深める ・ 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける ・ 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		